

臨床実践能力基準

レベル	対象と役割	定義	到達目標
	新人	指導を受ながら看護実践できる	<ul style="list-style-type: none"> ・看護の望まれる看護態を理解し、言葉で表現することができる ・倫理観を持つ重要性を言葉で表現できる ・倫理観を学び、基本的人権について考えられる ・新人看護師としての役割を自覚し、その責任を果たすことができる ・看護実践のための基礎知識・技術・態度を身につけ、安全安楽に実施できる ・指導を受ながら、看護個に沿った実践をし、評価を受けることができる ・専門職として主体的に学習を継続することができる ・部署の専門性を理解することができる ・日頃の看護を振り返り、看護を育てることができる
	メンバー プリセプター 2~3年	担当看護師として自立した実践ができる	<ul style="list-style-type: none"> ・看護の望まれる看護態に近づき努力を継続することができる ・日常の看護場面の中で倫理課題について気づくことができる ・看護チーム内で、状況に応じたリーダーシップを発揮できる ・プリセプターとしての役割を果たすことができる ・根拠のある看護を安全安楽に実施することができる ・受け持ちとして、対象の個に沿った看護を実践し、評価することができる ・自己の提供した看護を評価することができる ・専門職として主体的に学習を継続することができる ・看護の確立に向けて、事例研究を行うことができる
	リーダー 臨床指導者 3~6年	部署・チームの中でリーダーシップを発揮することができる	<ul style="list-style-type: none"> ・看護場面での倫理課題について担当看護師として責任を持つことの意味やわかり、責任を持つことができる ・看護チーム内のあらゆる場面で、リーダーシップを発揮できる ・専門領域における看護実践の役割モデルとなる ・後輩や学生の指導ができる ・看護実践のための専門知識・技術・態度を見につけ、安全安楽に実践することができる ・研究的視点・姿勢を持つことができる ・専門職として主体的に学習を継続することができる ・看護の確立に向けて、事例研究を行うことができる
	中堅看護師 7年以上	担当部署で予測される課題を見出し、意図的に対応することができる	<ul style="list-style-type: none"> ・看護の中堅看護師としてのロールモデルとしての役割を果たすことができる ・日々の看護業務の中で倫理課題について所属内や他部門と共に関係を築き、解決につなげることができる ・看護実践のための専門知識・技術・態度を見につけ、安全安楽に実践することができる ・部署の看護の質を評価することができ、改善することができる ・看護部門の運営方針を理解し、参加することができる ・自ら進んで、魅力ある職場づくりに取り組むことができる ・事例・看護研究を行うことができる ・専門職として主体的に学習を継続することができる ・キャリアデザイン・ライフデザインを描くことができる